

令和7年度

内閣総理大臣  
表彰

国土交通省推薦

# 宇都宮市・芳賀町・ 宇都宮ライトレール株式会社

(栃木県宇都宮市・芳賀町)

## 【受賞理由】

- 全国初の全線新線による本格的なLRTの開設にあたり、「移動円滑化基準を丁寧に守る」を徹底し、合意形成の軸として活用。
- 段差・隙間の基準値の達成やスロープの設置、バリアフリー車両の導入などを高い水準で実現。
- 基準を丁寧に守り、対話を重ねれば、アクセシビリティは確実に実現できる」という極めて重要な示唆を全国に示し、新規事業であることの利点を活かしつつも、行政としての謙虚さと誠意をもって市民との信頼を築いたからこそ得られた成果であり、他の自治体にとっても再現性の高い実践知として高く評価。



## 【団体概要】

- 全国初の全線新設による本格的なLRT(ライト・レール・トランジット)であり、高齢者、子育て世代、障害者など誰もが利用できる公共交通インフラとして芳賀・宇都宮LRT(ライトライン)を2023年8月に開業。

## 【功績・功労】

- 視覚障害者団体をはじめとする当事者から、施工前フェーズである設計段階から意見等を伺い、点字ブロック配置の改善や誘導導線の分かりやすさなど、利用者にとって直接的な利便性を高める仕様修正・決定を多数実現した。
- 開業後の調査では、
  - ・高齢者や免許を持たない市民の外出頻度の増加
  - ・歩行量(平均歩数)の増加
  - ・通勤・通学時間の短縮
  - ・子育て世代や車椅子利用者の満足度の向上など、生活の質(QOL)の改善と社会参加の促進が明確に確認されている。
- 多くの自治体から視察が相次いでおり、現時点の日本におけるバリアフリー公共交通の「スタンダード」を提示するモデルケースとなっている。

特に、「基準に沿えば誰でも再現できる」「新設であればこの水準ができる」というメッセージ性は、全国の地方都市における公共交通整備の背中を押しているといえる。

